

## 6. 地域への愛着について

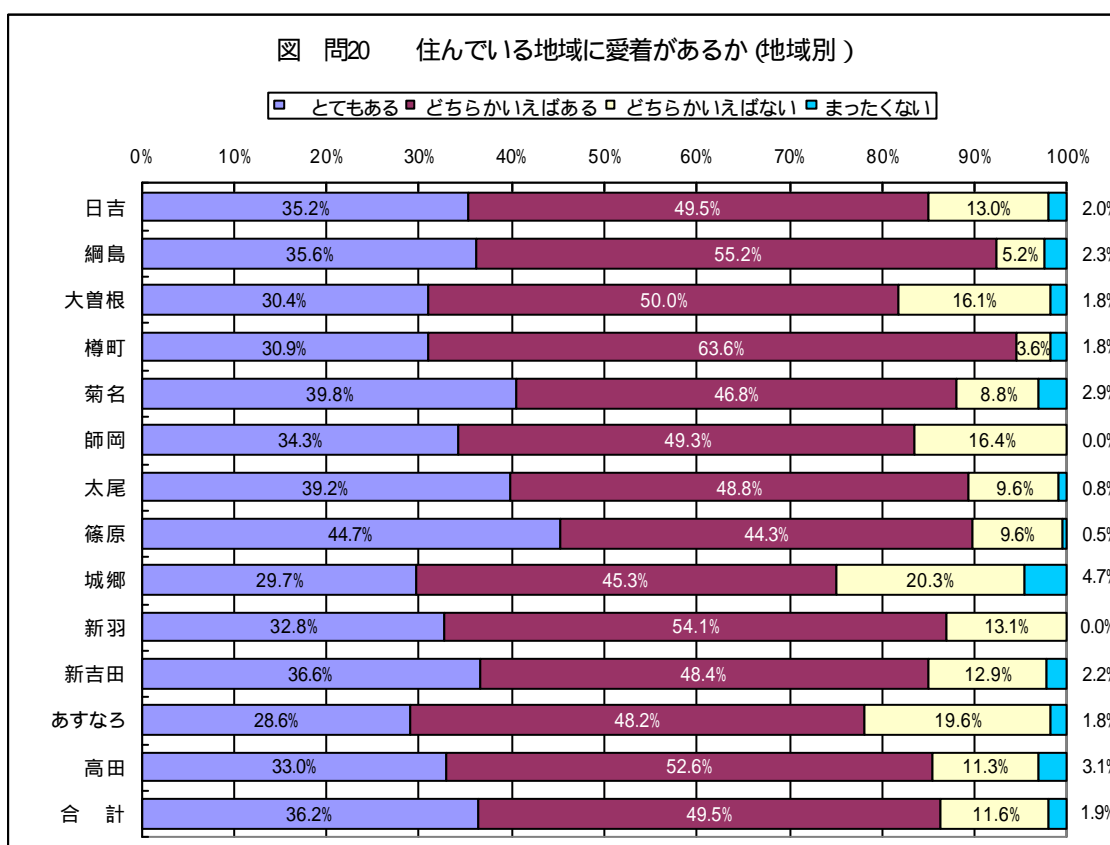
問20 今お住まいの地域に愛着がありますか。

(あてはまるものを1つ選んでください。)

1 とてもある	582	36.2%
2 どちらかと言えばある	796	49.5%
3 どちらかと言えばない	187	11.6%
4 まったくない	31	1.9%
無回答	13	0.8%

問20では、「今住んでいる地域に愛着があるか」質問した。「とても」「どちらかと言えば」を合わせて「愛着がある」が85.7%と非常に高い答えとなっており、「どちらかと言えば」を含めて「ない」13.5%にとどまっていた。

これを地域的に見ると、大きな差が出ていた。「とても」「どちらかといえば」を合わせて地域に「愛着がある」が高いい順で見ると、樽町、網島地区が9割以上であり、篠原、太尾地区でも9割近くなっていた。逆に低い順で見ると、城郷、新吉田あすなろ地区で4分の3程度で、大曽根地区でも8割程度にとどまっていた。



回答者の属性の属性で見ると、性別ではほとんど変化が見られなかった。

年齢別では、年齢の低い 30 歳未満～ 40 歳代が「とても」「どちらかと言えば」を合わせた「愛着がある」割合がやや低く、特に「とてもある」が平均を下回っていた。50 歳代以降は、年齢が上がるにしたがって増えていき、「70 歳以上」になると 9 割を超えていた。

住居の形態別で見ると、「持ち家・一戸建て」が「愛着がある」割合が最も高くほぼ 9 割となっていたが、「持ち家・マンション」は平均並み、「賃貸・マンション」で約 8 割、「賃貸・一戸建て」、「社宅」などの順で低くなっていた。

居住歴別で見ると、「0 - 2 年」で「愛着がある」割合が 7 割台と低く、居住歴が長くなるにしたがって地域への「愛着がある」割合は高まっていき、「21 年以上」では 9 割を越えて高くなっていった。

その他の属性では、あまり大きな変化は見られなかった。

